

生き生き
学びあうまち
東大和

東やまと 教育委員会だより



第68号

平成27(2015)年 4月30日

発行: 東大和市教育委員会

〒207-8585

東大和市中央3-930

TEL 042-563-2111

編集: 学校教育課



▲ 第25回多摩湖駅伝大会 (平成27年3月21日 実施)

平成27年度 教育経営方針

教育長 真如 昌美

一 学校教育

I 生きる力の育成

◇ 知育

小学校期の基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させます。中学校期では、小学校で習得した力を活用し、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力を磨きます。

◇ 徳育

家庭、学校、地域とともに、自他の生命を尊重し、規律ある生活を送ることができ、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けさせていきます。

◇ 体育・健康

家庭や地域社会との連携を図りながら、食育の推進や体力の向上に関する指導の充実を図っていきます。

II 学校の活性化

校長は、学校経営方針を職員、保護者・地域に周知し共有する中で、学校、家庭・地域が互いに信頼し合うまとまりのある組織として学校を機能させていきます。

教育委員会は、教員の専門性を磨く研修の充実を図るなど、学校づくりを支えていきます。

笑顔のある明るい挨拶と、爽やかなおもてなしのできる学校づくりを広げていきます。

III 家庭、地域の教育力の向上支援

学校教育の成果を生み出すためには、日常の生活習慣や社会的自立など、家庭や地域の教育力も求められます。日頃から学校と保護者・地域とが一体となった「地域の学校づくり」を進めていきます。

II 社会教育

I 社会教育の推進

本年度より市民体育館等の体育施設を管理する指定管理者が変わりました。利用時間の延長等、民間事業者のノウハウを活かし、市民の期待に応えていきます。

ふれあい市民運動会については、大人も子どもも気軽に楽しく参加できるように、申込方法等について、工夫・改善していきます。

昨年度、来館者数を大きく伸ばした郷土博物館については、企画展示の充実やより魅力あるプラネタリウムの投影に努めていきます。

II 公民館活動の充実

本年度新たに、東大和市の魅力を発見し、市の内外に発信するための事業を実施します。また、市民の学習意欲に応えるため、各種講座、市民大学の充実を図ります。

III 図書館サービスの充実

本年7月から、立川市と図書館の相互利用を開始することで、利便性が一層向上します。これからも地域の情報拠点として、多様化・高度化する市民ニーズに応えていきます。

平成27年度教育費予算(概要)

平成27年度の一般会計当初予算の歳入歳出総額は、三〇四億九、二〇〇万円です。歳出に占める教育費の構成比は十三・三%です。予算額では四十億五、七五九万円と、前年度に比較して十二億三、九九六万四、〇〇〇円の増となりました。

学校教育関係

一 予算の主な事業

- (1)学力の向上を目指し、協力指導員(ティームティーチャー)を新たに小中学校に配置。
- (2)学級の安定のため新たに小学校に学習支援員を配置。
- (3)市役所会議棟で行っていた、やまとつくんとつくん塾(補習教室)を新たに各中学校で実施。
- (4)市長会補助を活用し、児童・生徒の体力向上を図るための経費を計上。
- (5)特別支援教育の推進を図るため、子ども支援員(メンタルサポートスタッフ)を配置する経費を計上。
- (6)特別な教育的支援を必要とする生徒の環境整備を図るため、第三中学校の通級指導学級設置に係る工事費等を計上。

二 学校の活性化

- (1)小学校の通学路に防犯カメラを設置するための経費及び通学時の児童・生徒の見守り活動を続けていただいている保護者PTA、ボランティアの方々を支援するための経費を計上。
- (2)児童・生徒の給食費や学用品費などの保護者負担を軽減するため就学援助事業費の経費を計上。

社会教育関係

一 社会教育の推進

- (1)生涯学習社会形成の基本的な指針となる第三次東大和市民生涯学習推進計画の策定のための経費を計上。
- (2)市民が充実した生涯学習に取り組む、豊かな生活を送れるように、市が行う生涯学習関連事業の案内や市内団体・サークル紹介等を掲載した「学びあいガイド」を発行します。
- (3)おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため、市民の協力を得て、あたたかみのある成人式を行います。
- (4)市民文化祭を通じて、市民と参加団体等の交流を推進し、市民の文化活動の振興を図ります。
- (5)社会教育関係団体に補助金の交付等の援助を行うことで、市民の自主的な社会教育活動を推進します。

クシシステム等貸借に係る経費を計上。

三 家庭・地域の教育力の向上支援

- 関係機関と連携し、いじめ、体罰、不登校等の諸問題に対応するため、新たにスクールソーシャルワーカーを指導室に配置。

二 市民の健康増進、体力向上及び相互交流を図るため、市民体育大会スポーツ大会を行うための経費やスポーツ行事の負担金を計上。

- (10)里正日誌編纂に係る費用、吉岡堅二画伯作品の表装に係る費用を計上。

- (11)東京都及び市の指定文化財を所有する豊鹿島神社に対し、郷土の文化財の保存・継承の観点から、防犯・防災設備の整備に係る補助金を計上。

二 公民館活動の充実

本年度は、市長会補助を活用し、講座や事例研究を通して東大和市の魅力など発見・整理し、それを発信する市民グループの育成事業を実施します。

戦後70年記念事業として、「中央公民館まつり」において、平和に関する記念講演、また、「夏休み☆みんなで作る遊空間」

- (6)市内青少年団体の責任者・指導者が活動中に法律上の損害賠償責任を負った場合に備え、賠償責任保険へ加入し、責任者等の負担の軽減に努めます。
- (7)市民体育館における施設運営の安全確保を図るため、中央監視盤装置の更新経費を計上。
- (8)防災機能強化のため、桜が丘市民広場におけるマンホールトイレ設置工事費を計上。
- (9)市民の間にスポーツを振興し、あわせて市民の健康増進、体力向上及び相互交流を図るため、市民体育大会スポーツ大会を行うための経費やスポーツ行事の負担金を計上。

- (10)里正日誌編纂に係る費用、吉岡堅二画伯作品の表装に係る費用を計上。
- (11)東京都及び市の指定文化財を所有する豊鹿島神社に対し、郷土の文化財の保存・継承の観点から、防犯・防災設備の整備に係る補助金を計上。

本年度は、市長会補助を活用し、講座や事例研究を通して東大和市の魅力など発見・整理し、それを発信する市民グループの育成事業を実施します。

戦後70年記念事業として、「中央公民館まつり」において、平和に関する記念講演、また、「夏休み☆みんなで作る遊空間」

において、小学生向けの平和に関するイベントを予定しています。

市民大学については、前後期の2期制とします。

秋から、インターネットによる学習室等の空き状況の確認や利用予約を開始し、利用者の利便性を向上させます。

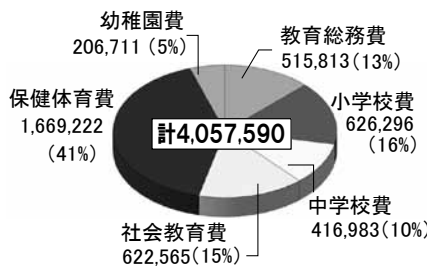
その他、「0歳児保育」試行の継続など、事業の充実に努めます。

図書館では、今年の7月1日から立川市とも相互利用を始めることになりました。東村山市、武蔵村山市に続き、3市目の実施となりますが、特に、立川市の中央図書館は立川駅近くの非常に便利な場所にあり、通勤・通学の途中で利用していただくことも可能になります。

三 図書館サービスの充実

図書館では、今年の7月1日から立川市とも相互利用を始めることになりました。東村山市、武蔵村山市に続き、3市目の実施となりますが、特に、立川市の中央図書館は立川駅近くの非常に便利な場所にあり、通勤・通学の途中で利用していただくことも可能になります。

教育費歳出内訳 (単位:千円)



教育委員会の動き 1-3月

1月定例会

○平成27年度東大和市学校給食事業計画及び平成27年度東大和市学校給食会計予算について
(諮問) (承認)

2月定例会

○市長の権限に属する事務の補助執行に係る協議について(同意)
○平成27年度東大和市学校給食事業計画及び平成27年度東大和市学校給食会計予算について
(答申) (承認)

3月定例会

○東大和市教育委員会委員長の選挙について
○東大和市教育委員会委員長第1職務代理者及び第2職務代理者の指定について
○事務の臨時代理の承認について(平成26年度東大和市一般会計補正予算(第6号))(教育費について) (承認)
○事務の臨時代理の承認について
外7件承認及び1件可決 (承認)

外1件承認

○桜が丘市民広場の一部に係る用途変更及び所管換えについて (承認)
○平成26年度東大和市一般会計補正予算(第7号)(教育費について) (承認)
○事務の臨時代理の承認について(平成27年度東大和市一般会計予算(教育費)について) (承認)

平成27年度

校長・副校長の異動

平成27年4月1日付で、異動がありました。

◆校長の異動◆

第二小学校

井内 潔 武蔵村山市立雷塚小学校長へ

澤崎 彰一 瑞穂町立瑞穂第二小学校長から

第九小学校

大中 勲 定年退職(3月31日付) 再任用

第十小学校

杉本 信代 八王子市立横川小学校長へ

吉行 一敏 三宅村立三宅小学校長から

第一中学校

曾根 信行 定年退職(3月31日付) 再任用

第二中学校

高岡 麻美 府中市立府中第九中学校長へ

松村 正博 第三中学校副校長から

第五中学校

半田 道夫 再任用退職(3月31日付)

山本 武 八王子市教育委員会統括指導員 事から

◆副校長の異動◆

第三中学校

松村 正博 第二中学校長へ

岩井 秀雄 練馬区立大泉北中学校副校長から

第四中学校

澤井 裕一 武蔵村山市立第三中学校副校長へ

田中 博 立川市立立川第五中学校副校長から

吉岡 正元 調布市立第四中学校副校長へ

上沢 利美 東村山市立東村山第二中学校主幹教諭から

石井 卓之 港区立芝浦小学校長へ

岡田 博史 青梅市立霞台小学校長から

◆教育委員会事務局の異動◆

指導室長

石井 卓之 港区立芝浦小学校長へ

岡田 博史 青梅市立霞台小学校長から

東大和市教育委員会の基本方針 ~教育目標を達成するために~

- 基本方針1「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成
- 基本方針2「豊かな個性」と「創造力」の伸長
- 基本方針3「総合的な教育力」と「文化・スポーツ」の充実
- 基本方針4「市民の教育参加」と「学校経営の改革」の推進

東大和市教育委員会の教育目標 ~東大和市のめざす教育の姿~

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

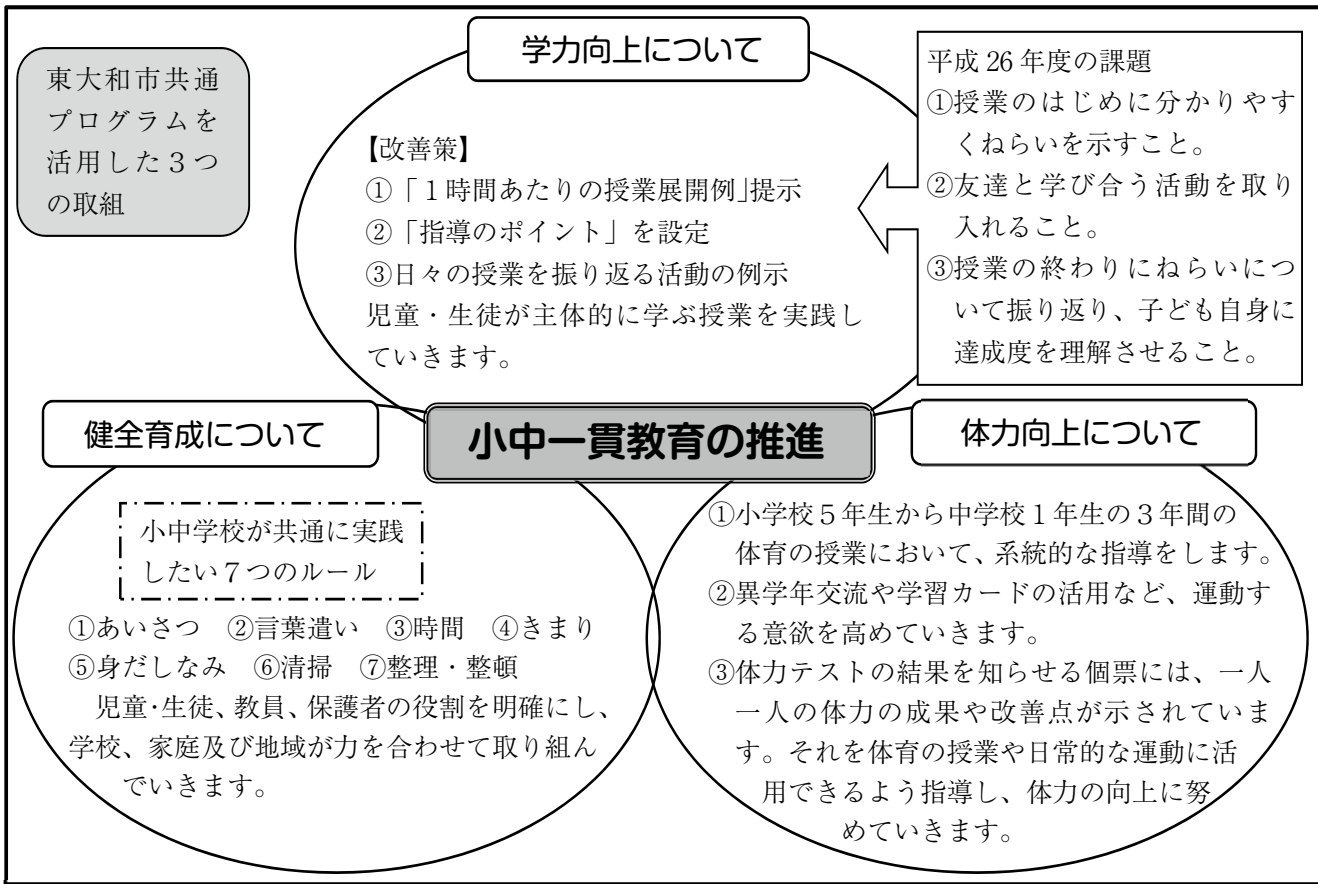
◆教育委員会制度について◆

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、平成27年4月1日に施行されました。今回の改正は、教育の政治的中立性、継続性、安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、地方公共団体の首長と教育委員会との連携強化など、制度の抜本的な改革を行うものです。

主な点は、①教育委員長と教育長を一本化した「新」教育長の設置、②「新」教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化、③すべての地方公共団体に「総合教育会議」(首長が招集する会議で、首長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたること)ができるように協議・調整を行う「場」の設置、④教育に関する「大綱」(首長が策定する教育の目標や施策の根本的な方針で、地方公共団体としての教育施策に関する方向性を明確化するもの)の策定です。

当市では、旧制度から新制度への教育の継続性・安定性を確保するため、法律の附則による経過措置を適用し、現教育長の教育委員としての任期中(平成28年3月31日まで)は、現行の教育長、教育委員長、教育委員会の関係が変わることはありません。

平成 27 年度 学力向上 東大和市の取組



○児童・生徒一人一人に応じた指導の充実を図ります

主な対象 小学校4年生及び中学校1年生
教科 主に算数・数学

教員とTT（ティームティーチャー）の複数指導により、児童・生徒のよさについて認めたり、励ましたりするなど、一人一人に応じた指導の充実を図ります。

○児童・生徒の習熟度に応じた指導を展開します

小学校	国語、算数、理科のいずれか
中学校	国語、数学、理科、外国語（英語）のいずれか

学習指導方法、学習形態等の改善・工夫を行い、児童・生徒の学力の向上を図るため、習熟の程度に応じた少人数の学習を行います。

児童・生徒に応じた指導のさらなる充実

○落ち着いた学習環境を整えます

小学校において、子どもたちが落ち着いた環境の中で学習に取り組めるように、教室内で子どもたちの支援を行う学習支援員を配置します。

○放課後等の補習指導を充実していきます

学校の授業で学んだことを補充し、より理解を深めるために、各小・中学校において、放課後や長期休業期間中等に補習教室を行い、基礎・基本の定着を図ります。



東大和市に 新しい先生が 採用されました

4月2日(木)に、今年度東大和市に採用となった新規採用教員対象の「初任者研修会開講式」が、東大和市中心公民館ホールで行われました。真如昌美教育長からの辞令交付後、同教育長あいさつ、初任者代表教員からの決意発表が行われました。

開講式後、場所を中央公民館3階の研修室に移し、「第一回初任者研修会」を開催しました。初任者13人全員が自己紹介及び、抱負の発表後、岡田博史指導室長から、初任者教員としての心構えについて、講義が行われました。初任者の真剣に取組む姿に熱意を感じました。

東大和市教育委員会は、子ども一人一人の生きる力を培うため、初任者教員に、授業力を中心に、生活指導力、家庭・地域との連携力の向上等、様々な力を育てていきます。また、校内でも授業研究や研修を通して、実践力を磨いていきます。

新規採用教員が子どもたちのために全力を尽くします。応援のほどお願いいたします。

新学校給食センター 建設事業

市では、新学校給食センター建設事業を進めています。

平成25年度に行った基本設計後に市民説明会等で寄せられたご意見を参考に見直しを行い、平成26年度は実施設計を行います。

新学校給食センターでは、衛生管理の徹底、アレルギー対応の充実、現在使用中のランチ皿に替わる個々食器の導入等に取り組みます。

平成27年度、28年度の2か年かけて、新築工事を行い、平成29年4月に新しい学校給食センター稼働の予定です。

新学校給食センター 施設概要

(1)所在地 東大和市 桜が丘2丁目142番地41	(5)敷地面積 3,148.76㎡
(2)用途地域 工業地域	(6)建築面積 2,042.90㎡
(3)構造規模 鉄骨造、地上2階	(7)延床面積 3,913.58㎡
(4)建物の高さ 15.28m	(8)調理能力 1日最大8,000食

校舎外壁改修工事 マンホールトイレ 設置工事

第一、第二、第六、第十小学校及び第一、第三中学校において、平成25年度に実施しました外壁調査結果を基に、モルタル仕上げのひび割れや浮きを補修し、塗り替えを行います。また、ガラス周りや、サッシ周りのシール補修も合わせて行います。市内小学校のうち5校において、災害時に利用するマンホールトイレ設置工事を行います。住民の避難場所となる学校施設における、防災機能強化のため、実施します。

通学路に防犯カメラ を設置します

平成27年度、28年度の2か年をかけて、東京都の補助金を活用して、小学校の通学路に防犯カメラを設置します。具体的には、市内の小学校10校の通学路に、1校あたり5台ずつ、防犯上必要と思われる場所に設置します。

設置場所につきましては、不審者情報や学校、PTAの方々のご意見を参考に、市全体のバランスも考えて効果的な配置になるよう検討してまいります。

また、設置場所付近の方のご理解が得られるよう、プライバシーへも配慮した配置となるように計画的に事業を進めてまいりますので、市民の皆さまのご理解ご協力をお願いします。

平成28年4月から第三 中学校に通級指導学級 を開設します

第二中学校に情緒障害等通級指導学級を設置しておりますが、平成28年4月から第三中学校に情緒障害等通級指導学級を新たに開設します。

情緒障害等通級指導学級とは

さまざまな要因によって、学習面や行動面において何らかの課題があり、一部特別な支援を必要としている生徒のための学級です。通常学級に在籍しながら週1回程度通級します。

具体的には、知的発達には遅れはないものの、特定の分野の学習に困難がある。または、友達との関係がうまく築けないなどの状態に応じた教育を受けるための学級です。

通級指導学級・特別支援学級に関するお問合せは、学校教育課特別支援教育係
(内線1525・1527)まで。

いじめなど、困った時の相談は・・・

いじめ電話相談

東大和市教育委員会内
(月曜日から金曜日 午前9時から午後4時まで)
電話 042-516-8091

24時間いじめ相談ダイヤル

(全国統一ダイヤル)
なやみ言おう
電話 0570-0-78310

さわやか教育相談室

第三小学校内(3階)(月曜日から金曜日 午前10時から午後5時まで)
電話 042-562-7911

子どもの110番(ダイヤル・サービス社)

ホームページ <http://www.kodomo110.jp>



▲画家・吉岡堅二の旧邸宅



（仮称）東大和郷土美術園 特別公開

日本画家・吉岡堅二の旧邸宅の特別公開を行います。今回は、堅二が訪れた世界各地を描いたスケッチを展示します。作品で世界旅行をした気分になってみましょう。

公開日 5月23日(土)・24日(日)
公開時間 午前10時～午後4時
会場 (仮称)東大和郷土美術園
東大和清水3・779 (駐車場はありません)

24日(日)のみ中庭でバイオリンとチェロのコンサートを開催します。大人気の「お庭」ガイドも復活します。(23日(土)のみ)「おうちガイド」、「展示ガイド」は両日行います。

（ここがふるさと・東大和の魅力発見・発信し隊）

「東大和をもっともっと、安心・楽しい・訪ねたいまちにする」ため、まちの魅力を発見し発信していく事業を行います。

I 藻谷浩介氏講演会「夢おこし！ まちおこし！ in 東大和」

ベストセラー『里山資本主義』の著者・藻谷浩介氏(株)日本総合研究所首席研究員)に東大和市のような小さな自治体で「夢おこし」をするためのヒントを語っていただきます。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

▼日時 5月16日(土)
午前9時30分～11時30分
▼場所 中央公民館ホール
▼定員 300人

II 東大和の魅力発見・発信し隊、出発！ ～まちおこしの仕掛け人基礎講座～
▼日時 5月28日(木)～7月9日(木)
午後2時～4時
(全6回)

▼場所 中央公民館
▼定員 30人(申込順)
▼講師 池田真紀氏(東京農業大学非常勤講師)

III 東大和の魅力発見・発信し隊 ネット発信班、こちらも出発！
▼日時 6月27日(土)～1月16日(土)
(全8回・土曜日)

▼場所 中小企業大学校東京校

▼定員 20人(申込順)
▼講師 田村信之氏
※本事業は掲載内容以外にも実施します。詳細については、こみんかんだより、チラシ、ホームページ等でご確認ください。

（東大和市民大学のご案内）

第3回市民大学・東大和グリーンカレッジを開講します。生涯学習の一環として、市民が主体的に豊かな地域社会をつくるため、地域で学び、互いに関わりあい、自己実現するための機会を提供します。じっくり学んでいただき、修了後は地域で活躍していただくことを目指しています。

▼対象 市内在住、在勤又は在学中で平成12年4月1日以前に生まれた方
・募集人員 40人
・学習内容(予定) 前期は全12回、「緑のボランティア」について学びます。後期も全12回、内容については、今後企画運営委員と検討します。規定数以上出席された方に対し、修了証が授与されます。

・費用 無料※ただし教材費等は自己負担の場合があります。
・前期申込期間 5月2日(土)～20日(水)※詳細については、こみんかんだより、募集案内、ホームページ等でご確認ください。

体育施設の指定管理者の変更について

平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間、市民体育館ほか4施設(別表参照)の管理・運営は、指定管理者「ロンド・スポーツ・ジェイレック共同事業体」に変わりました。これに伴い、体育施設の休日等が変更となりました。

【休場日の削減】
市民体育館、桜が丘市民広場及び上仲原公園テニスコートの年末年始の休場日が、12月28日(翌年の1月3日)となりました。

【開場時間の延長】
市民体育館における個人利用は、平日の5日間全てにおいて、開場時間が午前9時～午後11時となりました。

Table with 2 columns: 名称 (Name) and 所在地 (Location). Lists facilities like 市民体育館, 市民プール, 桜が丘市民広場, etc.

ひとりでなやまないで！

Table with 3 columns: サポートルーム (適応指導教室), 訪問による教育相談. Includes dates and phone numbers.

Statistics for children and students. Includes a table for school enrollment (小学生, 中学生) and a summary of total counts with year-over-year changes.